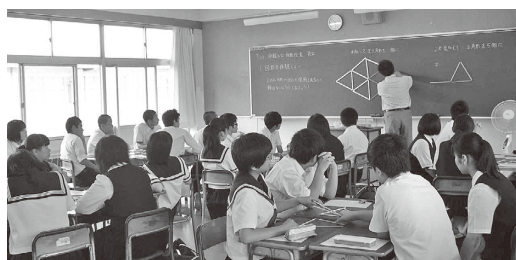


Funehiki High School News vol.97

◆入学を待っています

7月29日、中学3年生を対象に体験入学を開き、21の中学校から244人の中学生に参加いただきました。全体会では、生徒会長の三浦早人さんのあいさつのあと、1年生の門馬留奈さんと小檜山瑠偉さんが高校生活を紹介し、参加した中学生は熱心に耳を傾けていました。その後、体験授業、校舎見学や部活動見学・体験などを通して本校の学校生活を疑似体験しました。参加した中学生は、本校への理解を十分に深めてくれたようです。来年4月に船高生として入学してくるのが、今から楽しみです。



7月28日、2・3学年の進学希望者に対し、小論文学習会を行いました。講師にベネッセコーポレーションの菅野俊篤先生をお招きし、具体例を織り交ぜながら熱く指導していただきました。参加した生徒は真剣に聞き入り、小論文の書き方をしっかりと学びました。(写真左)

7月28日・29日の両日、フォークリフト講習会を開き、初日は学科に関する講義、2日目は車両の操作に関する実技講習が行われました。29日は体験入学の日でもあり、本校を訪れた中学生は興味深そうに見学していたせいか、受講する生徒も一層気合いが入った様子で取り組んでいました。(写真右)

そのほか、夏季休業中には大学・看護学校等進学向け学習会、公務員対策講座、ビジネスマナー講座、AEDの使用方法や心肺蘇生法について学ぶ応急手当講習会なども行いました。生徒の自己実現に向けて、今後も様々な取り組みを行っていきます。



◆球技大会で深まる親睦

7月15日・16日の2日間、校内球技大会が開かれました。生徒はクラスごとにおそろいのシャツを着て一致団結し、クラスの親睦が深まる機会にもなりました。〈順位〉1位…3年2組、2位…2年2組、3位…2年1組



◆大学見学で進学意欲を高めて

7月18日、1学年の進学希望者がいわき明星大学を見学しました。当日はオープンキャンパスで、参加者は教養学部での模擬講義や薬学部での実習体験などを通し、進学意欲をさらに高めた様子でした。目指す進学先に目を向ける良いきっかけにもなったようです。



◆将来のための夏季学習



楽しい夏の終わり
実りの秋の始まり

Adam Hidey
アダム・ハイディさん
(アメリカ合衆国
メリーランド州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	27

アメリカの子どもたちにとって、「9月」にはどんな意味があると思いますか？ アメリカの学校では、新年度は9月に始まります。9月からは、子どもたちは新しい服を着て、新しい教科書や学校用品を使います。そして、夏休みの終わりとともに、夏の夢から覚める悲しみも味わいます。

なぜ新年度を、木々や花々が生命を芽吹かせる時季——春に始めないのでしょうか。そのほうが理にかなっていると僕は思います。新年度は、新しく新鮮な始まりの象徴によって際立つものではないでしょうか。

「9月」は、アメリカの子どもたちが最も嫌いな月でしょう。暑さと湿気がまだ残る中、彼らはプールや浜辺で泳いだり外で遊んだりする代わりに、教室で勉強しなければなりません。9月に向けて子どもたちは、靴やバックパックなど自分の持ち物を新調します。そして、それが友達のものとは比べてかっこいいかを気にします。

もし僕の誕生日でなかったら、「9月」は、僕にとっても嫌いな月になっていたはずです。

アメリカでは、夏休みが約3か月続きます。子どもたちにとって長い休みです。そんなに長い期間を子どもたちにどう過ごさせるか、親たちは考えます。

中には、子どもを「サマーキャンプ」に参加させる親がいます。仕事に子どもの心配をしないでいいですし、家の中でテレビゲームをしているより、外で色々な活動をしているほうが子どもの心身にもいいからです。僕も大学に進学するまで、夏休みをサマーキャンプで過ごしました。子どもの中には（あるいは教師の中にも）、サマーキャンプでアルバイトをする人もいます。ある高校生は、サマーキャンプで充実した夏を過ごしなが、働いた分を大学の学費のために貯金しました。

一方で、夏休みの間、何もしない子どももいます。彼らはお昼近くまで寝て、栄養の偏った食事をし、一日の大半をテレビゲームをして過ごします。この過ごし方を、あなたは楽しく意義あるものだとは思わないでしょう。

もしも今、アメリカのように3か月もの夏休みがあったとしたら、僕はどう過ごしていいかわかりません。休みが時々あるのはありがたいことですが、思うようにいかない仕事をこつこつと続けるには、長すぎる休みは逆に困ってしまいます。

正直に言うと、日本で教師をするのは難しいです。それこそ、思うようにいかない時もあります。でも、だからこそ、やりがいもあるのです。子どもたちと英語で話し、子どもたちの笑顔を見るのは、とても楽しく、報われる瞬間です。

日本の「9月」には、アメリカほどの大きな区切りはありません。楽しい夏は終わりますが、実りの秋が始まります。秋は今、僕の最も好きな季節になっています。

